家政学研究科　児童学専攻　　履修モデル

子どもの心理と教育に関わる内容の研究を行う場合

概要

専攻の3領域6系列（発達・臨床、児童文学・児童文化、音楽・造形）を複数の系列に亘って履修し、子どもとその研究に関わる広域な視点と深い洞察力を培う。
また、「特別講義」で児童学に関わる最先端の研究について学ぶ。「児童学研究法」で研究の具体的な方法を習得し、修士論文を作成する。

進路

就職：日本子ども家庭総合研究所、山梨学院大学短期大学、江戸川学園おおたかの森専門学校、文京学院大学文京幼稚園
学校法人岩崎学園（臨床発達心理士・保育教諭）、社会福祉法人同愛会（心理職）、児童養護施設東京育成園（保育士）など
進学：日本女子大学大学院人間生活学研究科人間発達学専攻、東京大学大学院　など

科目区分	1年次		2年次		計
	科目名	単位数	科目名	単位数	
専攻授業科目	児童学研究法Ⅰ	2	生活調査方法論	2	
	児童学研究法Ⅱ	2	○※ 児童心理学特論Ⅱ講義	2	
	児童学研究法Ⅲ	2	○※ 児童心理学特論Ⅱ演習	2	
	○ 児童心理学特論Ⅱ講義	2	児童学研究法Ⅳ	2	
	○ 児童心理学特論Ⅱ演習	2	特別研究	4	
	○ 児童教育特論講義	2	特別講義Ⅲ	2	
	児童教育特論演習	2	特別講義Ⅳ	2	
	保育学特論講義	2			
	保育学特論演習	2			
	○ 児童社会学特論講義	2	特別講義Ⅴ	2	
	○ 児童社会学特論演習	2			
	○ 児童心理学特論Ⅲ講義	2			
	○ 児童心理学特論Ⅲ演習	2			
	○ 児童保健研究講義	2			
	児童保健特論Ⅰ講義	2			
	特別講義Ⅰ	2			
	○ 特別講義Ⅱ	2			
所属以外の専攻授業科目					
単位数		20		12	32

上記の科目に加えて、規定科目の履修により、専修免許状の取得も可能。
上記の科目に加えて、規定科目（表中○印）の履修をすることで、臨床発達心理士資格の試験受験資格が得られる。
※所属ゼミ教員の科目については反復履修を認めているため、「児童心理学特論Ⅱ講義・児童心理学特論Ⅱ演習」は、2年次でも履修する計画になっている。

緑色の科目名は推奨授業科目。
（表中の単位数には含まれない。）

家政学研究科　児童学専攻　　履修モデル

子どもの文化・文学に関わる研究を行う場合

概要

専攻の3領域6系列（発達・臨床、児童文学・児童文化、音楽・造形）を複数の系列に亘って履修し、子どもとその研究に関わる広域な視点と深い洞察力を培う。
また、特別講義で児童学に関わる最先端の研究について学ぶ。児童学研究法で研究の具体的な方法を習得し、修士論文を作成する。

進路

就職：産業編集センター、ジュンク堂書店、日本出版販売株式会社、和洋女子大学、日本女子大学附属豊明幼稚園、ポプラ社 など
進学：日本女子大学大学院人間生活学研究科、明治学院大学大学院　など

科目区分	1年次		2年次		計
	科目名	単位数	科目名	単位数	
専攻授業科目	児童学研究法Ⅰ 児童学研究法Ⅱ 児童学研究法Ⅲ 児童文化特論Ⅰ講義 児童文化特論Ⅰ演習 児童文化特論Ⅱ講義 児童文化特論Ⅱ演習 児童文学特論講義 児童文学特論演習 児童教育研究講義 児童教育研究演習 児童心理学特論Ⅱ講義 児童保健特論Ⅱ講義 特別講義Ⅰ 特別講義Ⅲ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	生活調査方法論 ※　児童文化特論Ⅰ講義 ※　児童文化特論Ⅰ演習 児童学研究法Ⅳ 特別研究 特別講義Ⅰ 特別講義Ⅱ 特別講義Ⅲ 特別講義Ⅳ 特別講義Ⅴ	2 2 2 2 4 2 2 2 2 2	
所属以外の専攻授業科目					
単位数		20		12	32

上記の科目に加えて、規定科目の履修により、専修免許状の取得も可能。
※所属ゼミ教員の科目については反復履修を認めているため、「児童文化特論Ⅰ講義・児童文化特論Ⅰ演習」は、2年次でも履修する計画になっている。

緑色の科目名は推奨授業科目。
（表中の単位数には含まれない。）